

## 公益活動報告書（市民活動実績報告書）（令和5年度分）

（宛先）岡崎市長

令和6年 4月18日

団体名 岡崎ボードゲーム会

代表者 井伊 通

構成員 5 人 （※令和6年4月1日時点の構成員数）

団体の目的：団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

電源を使わないゲーム（ボードゲーム）を通じて、年齢、性別、文化などを越えたコミュニティの形成と交流を創出することを目的とする。また、ボードゲームを遊ぶことによって脳を活性化させ、思考力、分析力、協調力、集中力等を高め、子供の発育や高齢者の認知症予防に役立つ

私達の団体が掲げる目的を実現するための活動を、以下の項目に従って報告します。  
なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

## ■ 1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどんな活動をしましたか（公益活動に限る）。

活動日 又は期間	場 所	公益*1を受けるの は 誰（何）か	受益者数		活 動 内 容	公益を受けるものに どのような効果があったか
			会員以外	会員*2		
2/26 4/2 5/7 7/9 8/13 9/17 10/28 12/2 12/24	やはぎかん	参加者	のべ 112	5	ボードゲーム会。参加費 500円。幅広い年齢の参加者が一緒に楽しむことができた。	異なる年齢の参加者が対面で遊ぶことによって、集団生活を行う上での社会性を養った。思考力や記憶力など脳の活性化させることにより、子供の発育や高齢者の認知症予防に役立った。
10/28	やはぎかん	参加者	24	3	やはぎかんと協業にてボードゲームを通じて防災を学ぶイベントを実施	防災について考える機会を提供できた。 小学生から高齢者まで幅広い年齢の参加者が一緒に遊ぶことに寄って交流が出来た。

※1 **公益** 市に登録した分野での活動で、広く市民社会一般にもたらされる利益（公益が団体や、その構成員や会員に対してもたらされる活動は、公益活動には当たりません。）

※2 **会員** 構成員であるなしに関わらず、公益の提供者として会の活動に参加する人

☆記載欄が足りない場合は、別紙を添付する形でも構いません。

## ■ 2 前項1に基づき、活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください（数字に○をつけてください）

高い ← ⑤ 4 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください

ボードゲームを通じて交流を創出できたため。また、様々な年齢の方に知識を遊びながら学ぶ場を提供できたため。

裏面の自己診断チェックリストをご確認ください。